

第15回病理技術向上講座 第11回びわ湖細胞病理チュートリアル (2026年度・合同開催)



開催日時	2026年4月24日(金)9:00 ~ 5月12日(火)23:59
開催様式	Web配信による視聴
主催	一般社団法人 PaLaNA Initiative
共催	滋賀県病院事業庁・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会
後援	滋賀県臨床細胞学会
Director	黒住 真史 (滋賀県立総合病院 病理部)
Program Comittee	原田 大輔 (堺町御池病理診断科クリニック)
	鈴木 悦 (NP0 法人つくば臨床検査教育・研究センター)
	守安 岳征 (大津赤十字病院 病理診断科部)
	黒住 真史 (滋賀県立総合病院 病理部)
Past Director	真鍋 俊明 (一般社団法人 PaLaNA Initiative 代表理事)
座長	守安 岳征 (大津赤十字病院 病理診断科部)

【定員】上限はございません(要事前申込)

【申込期限】2026年4月20日(月)

【受講費(税込)】7,500円(通常版)または10,500円(冊子版ハンドアウト付)

※領収書ファイルをダウンロードしていただけます。

※ハンドアウトは、すべての参加者がpdfファイルにてダウンロード可能です。

※冊子版ハンドアウトを事前に入手ご希望の方は、4/3(金)までに申込みを完了してください。

(それ以降も冊子版の購入は可能です。)

【参加方法】本講座のプラットフォームである GMO メディア株式会社が提供する
「コエテコカレッジ by GMO」のアカウントにて接続してください。

(<https://college.coeteco.jp/>)

【決済方法】クレジットカード決済/銀行振込/コンビニ決済

【取得単位】

- ・日本臨床衛生検査技師会 生涯教育点数：専門20点
- ・日本臨床衛生検査技師会 認定病理検査技師単位：A;20単位, B;20単位, D;15単位
- ・日本臨床細胞学会 細胞検査士クレジット：JSC;5単位, IAC;6単位
- ・日本病理学会 専門医更新単位(iv)：1単位

配信期間内にすべての講演を視聴し、最後のアンケートにお答え頂いたら上記の単位が取得可能です。

演題は裏面をご確認ください。

申込み方法：PaLaNA Initiative Web サイトよりお申し込みください
<https://www.palana.or.jp/15th-koujoukouza/>

【お問い合わせ先】

〒604-8412 京都市中京区西ノ京南聖町 18-21-402
一般社団法人 PaLaNA Initiative
<https://www.palana.or.jp/>
E-mail: koujoukouza@palana.or.jp



第15回病理技術向上講座

第11回びわ湖細胞病理テュートリアル



◆基調講演◆

1：病理検査部門におけるタスクシフト・シェア

ー病理医・病理検査技師のコラボレーションー

① 技師の立場から

滝野 寿

つくば臨床検査教育・研究センター / 日本病理精度保証機構

② 病理医の立場から

村田 哲也

三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央病院 中央検査科

◆管理運営◆

2：労働安全衛生法（労安法）の改正と病理検査部門での管理

山下 和也

北里大学病院 病院病理部

◆病理細胞診技術◆

3：認定一般検査技師・尿沈渣での細胞分類と異型細胞の分類 / 病理技術との連携

横山 千恵

筑波大学附属病院 検査部

◆切出し業務◆

4：肺病変の肉眼観察・写真撮影・固定切出し・診断

寺田 和弘

公立豊岡病院 病理診断科

5：肺病変の診断に必要な遺伝子検査技術と細胞診

村田 佳彦

筑波大学附属病院 病理部

◆遺伝子学的検査関連◆

6：次世代シーケンサー解析（NGS 解析）の再現性を担保する技術

ー多様な検体に対応する前処理標準化と臨床検査技術の役割ー

石橋 紀世

つくば i-Laboratory LLP 検査部 NGS グループ